

広報

くにみ

No.293

1997

11



平成9年11月15日………



上野台運動公園で開かれた町民大運動会は、10月10日に行われました。町内6地区対抗で、子どもからお年寄り約4000人が参加し、秋晴れの空の下、25種目の競技を楽しみました。総合優勝は2年連続で小坂地区、準優勝は森江野地区と大枝地区でした。

天気も応援。



楽しい運動会



大地の恵みに生きて

国見の秋、収穫の喜び

国見町は、農産物の大国です。初夏のサクランボやラムに始まり、夏のモモ、秋には梨、ブドウ、リンゴ、そして冬にはあんぼ柿……。また、色艶も味も新潟県魚沼産に決して劣らないコシヒカリも自慢の一つです。慈しみ育てたこれらを収穫するときの農家の喜びは、何物にも替えがたいものです。赤く色付いたリンゴや枝いっはいに実を付けた柿、黄金色に輝く稲穂が、真っ青な秋空に鮮やかに映える国見の秋。

自然と共に歩む農家の方々に、「これからの農業」についてうかがいました。





稲作農家

吉田利雄さん

自然農法を取り入れた米作りを始めたのは、平成元年でした。その後面積を増やし、本格的に取り組んだのが平成四年からです。今は五十町[㍎]の田と三十町[㍎]の畑があります。農業をしていた両親が丈夫なうち、私は会社勤めをしていました。会社勤めをしながら農業をしている間もずっと、自然農法の農業をしたいと考えていました。ただ、この農法は手間がかかりますから、会社と農業を両立することはむずかしいとあきらめていました。退職して自由な時間ができた今、長年の夢を実践しています。

■ 堆肥作りから始める

自然農法は、手間のかかる農業です。栄養たっぷりの豊かな土を作らなければなりませんから、堆肥作りから始めます。夏と秋の年に二回、稲わらを刻み牛ふんと混ぜて積み、発酵させます。この堆肥を田畑にまきます。自然農法をしていると除草もさぞかし大変だろう、という

人がいますが、この農法を四年ほど続けた田は、雑草が少なくなりました。病害虫の駆除には三百倍から四百倍に薄めた木酢液を散布します。

■ 合理的な農業

昭和三十三年から通算五年ほど、アメリカ・ロサンゼルス近郊の農家で農業をしてきました。これは、福島県が初めて募集した農業だけの海外研修団でした。とてつもなく広い畑、農場の中に鉄道の引込線を入れて貨車で運搬するスケールの大きさ、日本の農家には珍しかったトラクターなどの機械を使った合理的な農業がとても魅力的に思えたものでした。日本の農業も、経済の高度成長と歩を同じくして、合理化や利益追求及型のものに変わってしまつたようです。

■ 生き物たちに優しい農業

自然農法の田の収量は、他に比べ、十町[㍎]当たり一俵から二俵

ほど少なくなります。それでも自然農法にこだわるのには理由があります。

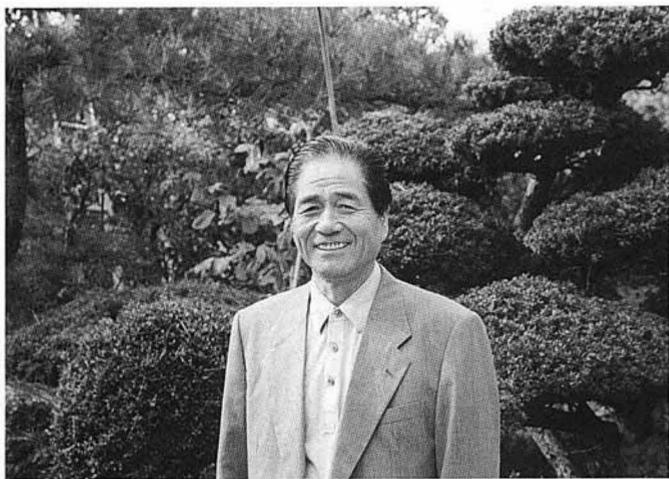
体が弱かった母が、自然農法で作った米を食べるようになってから、丈夫になりました。九十三歳まで長生きしました。また、化学肥料や農薬を使わないので、人にも環境にも優しい農業だからです。

化学肥料を使わない田畑の土には、微生物がたくさん繁殖します。そして微生物を食べるミミズが増えます。ミミズは土の中を動き回り、ミミズのフンが微生物を育てます。化学肥料を使うと、雑草と一緒に土作りに大切なミミズや微生物まで殺してしまうことになるのです。

自然農法の田は、昨年から町が減反の対象としてカウントしてくるようになりました。

この町にも数は少ないですが自然農法で作物を育てている人たちがいます。こういった仲間がもっと増えるといいな、と思います。

自然農法で米作り



国見町農業委員会

会長 賀藤 貞さん

農業でがんばる

今は、親が農業をしているから子どもも農業をしなくてはならない時代ではなくなっています。逆に、本気で農業をしようと思う人、やる気のある人であれば、農業に就かない時代になってしまったといえるのではないのでしょうか。

新食糧法の施行や新生産調整が行われている今であっても、やはりこの国の農業は稲作が主になっています。米余りの今をどう切り抜けていくかが鍵になります。

■ 国が保護すべきこと

毎日の暮らしぶりをみると、若いうちは農家もサラリーマンもそんなに変わりはありません。大きな違いが出てくるのは、年をとってからの保障問題です。農家には、国民年金のほかに農業者年金が支給されますが、毎月手にするのできる額はサラリーマンに比べると極端に少ないのが現状です。六十五歳で農業を引退した夫婦が、

安心して暮らせるような額の年金が支給されるようであれば、農業への見方も変わるのではないのでしょうか。農業委員会でもこの点を、国がもっと保護するよう働きかけています。

■ 専業農家の誇り

若い専業農家の中には、自分たちの農業を子どもたちには押しつけない、という人たちが増えてきました。私たちは私たち、子どもは子ども、という考え方をします。

これは決して今の農業を嫌ってのことではありません。理由を尋ねると、「子どもは親の働く姿を見ているもの。親が、しっかりと暮らしているような魅力ある農業をしていれば、自然と子どもは親の仕事を経くもの」という答えが返ってきます。

彼らが誇りを持って、田んぼや畑で頑張っている姿が目につかびます。町や私たち農家は、こういった専業農家をぜひとも残さなければなりません。

■ 情報収集と経営手続

これまでの農業は、人のまねをしていれば良かったのですが、今はそれではいけない時代です。稲作にしても品種や栽培方法がたくさんあります。果物もよりおいしいもの、高く売れるものを自分で見つけて作らなければなりません。「隣の人がしているから私も」の農業では、落ちこぼれてしまう時代が来ています。情報収集力と経営手腕がない専業農家が生き残ることは一層難しくなるのではないのでしょうか。

また、圧倒的に多い兼業農家の役割も大事になってきます。国見町の認定農業者たちは、情報交換し合いながら切磋琢磨して、これらの兼業農家を引っ張って、いって欲しいと思います。なぜなら農業は、国の生命線を預かっている大事な産業であるとともに、これからどんどん変わっていく魅力的な産業なのですから。



農業経営海外派遣団員

高橋一博さん

(ドイツのホストファミリー・ハンソン夫妻と)

一国見町が事業主体となって行った「福島県農業経営海外派遣事業」に参加して一番強く感じたことは、ヨーロッパの農業は、自然環境を考えながら自然とともに農業をしていること、自然を利用した農業を実践していることです。たとえば、牛の飼育でも、羊の飼育でも、日本のようにふん尿処理施設などは設けず、すべて草地に還元しています。そのかわり、牛であれば一頭あたり二頭までといったように放牧面積に応じた厳しい頭数制限があります。

■自然との共生

野菜や花きはハウス栽培が主で、土を使わずに行う農業でした。ハウスの中にシートを敷き、ロックウールとビートモスを混ぜた培地を作ります。その培地に作物を植え付け、パイプを通して点滴で水や養分を供給します。トマトやキュウリなど地上部に実のなる作物に用いられていました。なぜ土を使わないの

かとの質問に「たとえ少量でも化学肥料や農薬を使用すると、それが地下水に浸透してしまふ。それは私たちのみならず自然界の生き物に良いことではない。それを防ぐためだ」との回答が返ってきました。また、農薬の使用を減らすために、天敵を利用したハウス栽培もありました。これらはみな、自然と人間との共生を考えた取り組みでした。

■会社経営と同じ

今回の研修で訪れたのは、ドイツ、オランダ、スイス、デンマークそしてフランスの五か国でした。どの国の農業も、その規模の大きさには驚くばかりでした。そして、どの農家も作物を作るだけではなく、自らそれを販売しています。一軒の農家が持つ農地が大きければ、収穫量もそれに見合った量になりますから、スーパーマーケットと直接契約をし、自分たちでパック詰めや加工までして直送して

います。これは、農産物を扱う会社経営と何ら変わりありません。感心する一方で、日本でもこの方法が広く普及する時代が来るのだろうか、と考えてしまいました。

■じっくり考える

ヨーロッパ研修から一か月がたちました。稲刈りに忙しい毎日を送っています。私が見聞きしたことをこれからの農業に、どれだけ生かすことができるのか正直いつてわかりません。小学生の私の子どもが、本気で農業をする、といったとき、モモ中心の果樹農業をどうするかです。私は自分の農業経営をもう一度考え直さなければならぬでしょうね。農地面積を拡大して生産量を増やし、ゆくゆくは自分の販売ルートも開拓しなければならぬかなとも思います。

それまでにはまだ時間があります。じっくりと腰を据えて見極めたいと思います。

ヨーロッパの農業



泉田水稲直播組合

組合長 佐藤庄平さん

新しい米作り

のことをもう一度検討すれば、今年よりもっと良い結果がだせると思っています。

今回の取り組みは、県北地域の稲作農家や農協などから注目を集めました。ほ場を見学に来る人たちが大勢いました。

これは、単に直播栽培ということだけではなく、他より一歩進んだ担い手育成事業型のほ場整備事業との連携事業だったことや伊達地域改良普及センター管内では最大規模だったこと、組合組織を作って取り組んだことなどが理由に上げられます。

新しい農業へ踏み出す

泉田地区の農家は、ほとんどが兼業です。そしてその農業を担っているのが六十歳代の人たちです。一方で、専業農家としてがんばっている若い人たちもいます。こうした農家の一番の問題は、農業収入だけでは暮らしていけないということです。

これまでずっと農業をやってきた人たちが第一線を退いたときに予想されることは、大型機械の導入や農地の集積です。そのとき農家は、新しい農業経営を考えなければなりません。個人では負担しきれないコストや労働時間の問題。これを解決する一つの手立てが、今年私たちが取り組んだ直播栽培なのではないでしょうか。

私たちが若いころは、一人当たり一年に三俵ほど食べていた米。今は一俵も食べないかもしれません。しかし、食べる量が減ったからといって、日本の稲作農家がなくなっていくはずはありません。稲作、果樹、畜産などの農業は、国土保全に欠かせない大事な役割も担っていることを忘れてはなりません。

今は、私たち農家も農業を本気で考えなければならぬときです。

四月の播種から十月の刈り入れまで、初めてのことがばかりだったので心配しました。収穫量よりも作業が順調に進むかどうか、一番気がかりでした。

一月に直播栽培に取り組んでみないかと話があったから、県と町、農協、そして地元農家が何度も話し合い、相談し合い、

し、併せて一手に作業を引き受ける作業班を作りました。作業班の五人の熱心さもあつて順調に作業が進み、秋の収穫を迎えることができました。

十月十六日から十八日にかけて行った刈り入れ状況を見ると伊達地域農業改良普及センターや農協の予想を上回る収量で、組合員も喜んでいました。

注目された取り組み

全体的には、ほぼ予想どおりの収穫量でしたが、田ごとにみるとすばらしい稲になった田とそうではない田がありました。

直播を行った水田は、ほ場整備直後でした。そのため、田の面が平らでなかったことや代かき前の掘り返しが十分ではなかったことが考えられます。この地区のほ場整備は始まったばかりですから、関係機関がこれら





泉田水稻直播組合の作業班は農業改良普及センターの指導のもとに、発芽促進剤のコーティング作業に始まる直播栽培の作業を一手に引き受け、秋の収穫まで忙しく過ごしました。作業全般を担当してみても、直播栽培は適切な管理をしっかりと行えば心配ない方法だということがわかりました。もともと、初めての取り組みということもあって、農家がそれぞれの判断で行っていた除草剤の散布などは、直播水田に限って農業改良普及センターの指導のもとに行われたので、気分的に楽な面がありました。ただ、作業をしていて問題になったのは、田の面の均平度でした。

稲作への思い

泉田水稻直播組合

作業班長 遠藤仁志さん

もつと効率をあげるために、ほ場整備直後で整地不良の水田でしたから、田の面に極端な高低差があったり、耕土が浅かったりしたことが、稲の育成と除草剤の効果不良など、後々まで悪い影響を及ぼしました。散種後に水を張ったとき、面が低い所は水が深くかかりすぎて、種もみが発芽せずに腐ってしまったり、逆に面が高い所は水がかからず、鳥についばまれ、除草剤が良く効かずヒエなどの雑草が生え、手取り除草に多くの時間と経費がかかってしまいました。また、無人ヘリコプターの散播ではなく条播だったら、排水の溝切りや施肥散

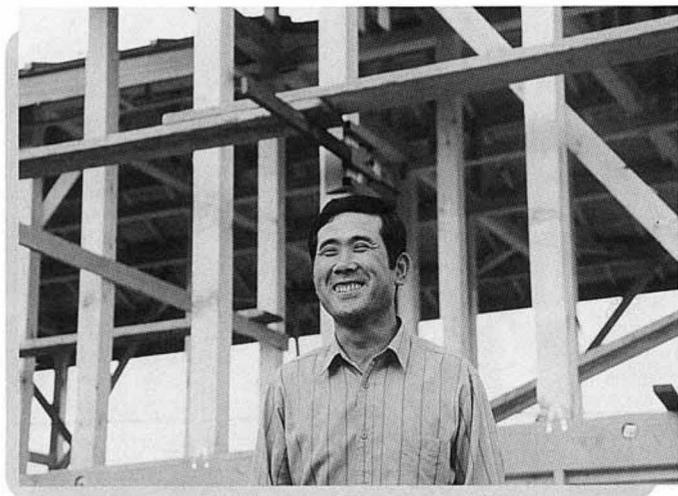


布などの作業ももつと効率良くできたのではないのでしょうか。

今と将来の狭間で

直播栽培は、私たちに新しい稲作農業を実感させてくれました。近い将来、農地の集積が図られ、米作りを一手に引き受ける大規模稲作農家が誕生しているかもしれません。

しかし、今年直播栽培をした農家の大半は田植え機などの農機具を持っていますから当分の間は、従来の稲作方法でがんばりたいと考えている組合員もいます。一方、条播であれば手持ちの稲刈り機などを使用できるので直播栽培に賛成の人たちも多数いることも事実です。



JA伊達みらい
あんぼ柿生産部会

部会長 松浦幹男さん

あんぼ柿の生産を始めたのは昭和四十年ごろからです。当時は、生産農家も少なかったです。生産量もわずか、自分の家の柿を軒先に干している程度でした。そのころ、私の家では二十から三十ぐらいでしたが、徐々に生産量を増やし、今があります。

三 億田産業に

平成八年に国見町の農協で取り扱ったあんぼ柿の販売額は二億九千万円でした。これは、モモ、米に次ぐ取り扱い額です。今では生産農家も二百五十人ほどになり、大きく成長しました。私たちはもちろん、町や農協でも三億田産業にしたいと考えています。

夏にはモモ、秋には米、そして冬はあんぼ柿で収入を得る。あんぼ柿の生産は、農家が冬期間にも現金収入を得られるように、と取り組みが始まったものです。私の家でも百三十坪の果樹と五十坪の水田に加えて、あんぼ柿の生産をしています。

スーパード資金で

冬も安定した収入が得られれば、専業農家は間違いなく成り立ちます。私の場合も、毎年恒常的に二十ぐらいの柿を加工できるようにと頑張っていました。そのため、認定農業者に融資される「スーパード資金」を利用してもらって、柿干し場を建てかえました。町が専業農家の自立に向けたさまざまな支援策を講じていることは、心強く感じます。

主にあんぼ柿（干し柿）を生産しているのは福島、長野、山梨、富山の四県です。中でもあんぼ柿といえは梁川町が有名ですが、品質や味では私たちが作るあんぼ柿も負けてはいません。市場での評価もぐんと上がりました。

農家と町が一緒に

上質のあんぼ柿は、味も食感もまるで高級和菓子です。それについて、健康食が好まれる時代になって、医学的な観点からも注目

されています。

しかし、問題がないわけではありません。あんぼ柿がモモやリンゴと大きく異なる点は、人の手を加える、つまり加工する点です。加工食品ですから、衛生面では特に気を使わなければなりません。労働力の確保も重要です。あんぼ柿の生産を支えているのは近所のお年寄りですから、これからもこれらの人たちに手伝ってもらえるのかという心配もあります。三つ目は、年によって柿の収穫量が波があることです。安定した量を安く買い入れることがなかなか難しい作物です。それでもあんぼ柿作りは魅力のある仕事です。

あんぼ柿は、この地方に昔からあった保存食です。全国的にみると、生産量が少ないためにまだまだ広く知られていない自然食品ですが、だからこそ、これから大きく伸びる可能性があると思います。

これまで、そしてこれから

生産者と町、農協と一緒に振興策を考えながら、大切に守っていきたいと思います。



果樹農家

黒田 武さん

強い農家になる

父の代から果樹中心の農家で
す。百三十坪の果樹園と七十坪
の水田があります。

米作りと果樹を比べたとき、
私には米作りの方が難しい状況
にあるように思えます。稲作農
家が自立するには、規模を大き
くしなければなりません。面積
を大きくするには水田を集積し
なければなりませんし、面積が
大きくなれば当然、人の力では
無理ですから、大型機械の導入
が必要になります。

そして、問題は今の米余りで
すよね。米価が下がって困るの
はだれなんでしょう。サラリー
マン世帯でも、兼業農家でもな
いですよね。米作り中心の専業
農家のダメージが一番大きいの
ではないでしょうか。

もともと、果樹中心の農家で
すから、果樹で頑張ってみよう
と思っています。

バランス

果樹園のうちリンゴが七割、
モモが三割ほどです。以前は八

対二くらいでしたが、需要のあ
るモモを増やしています。

私が作っているリンゴは、晩
生種が主体で五品種ほどです。
早生と晩生の間に出来る、個性
の強い中手の品種を作りたいの
ですが、市場性に少し不安があ
るので、その分の収益をモモで
補っています。

モモは出荷の最盛期が一気
にやってくる作物ですが、リンゴ
は、モモに比べ収穫期間が長い
のでじっくりと出荷できます。
私と父の二人でしている農業で
すから、労力配分はちょうど良
いのかも知れません。

生きる基本

極度に分業が進んだ今でさえ
「食べ物」については、自分が
食べる物は自分で作る、という
ことが基本だと思えます。農業
には収穫の喜びがあり、作った
ものを味わう楽しさがありま
す。安心して食べられるもので
あればなおさらです。

果樹にこだわるのには理由が

あります。たくさんあるくども
のほとんどは、そのまま味わ
うことができますし、さまざま
な香り、酸味、甘さ、色艶、形
などの豊かがあります。リン
ゴ作りをやめて他の作物に転換
しようと思わないのは、その楽
しみを知っているからです。

農家は自然を相手にしていま
すから大変なこともあります。
でも、もつと収入があればなあ
と思ったりすることはあります
が、農業がひどいとか、つらい
とか思ったことはないですよ。

「決まってるでしょ」

私には、「農業をするかい」と
尋ねると、「どうしてそんなこと
を聞くの。決まってるでしょう」
といってくる子どもがいま
す。農業を知らない子ともども
今、そういってものえるのはう
れしいことです。

彼が農業をしているかもしれ
ない十年後、人をあてにしなく
ても良い、強い農家になってい
られたらいいな、と思います。



大木戸小で

楽しい稲刈り

大木戸小の子どもたちが田植えをした田んぼの稲刈りが、十月三日に行われました。稲刈りをした田は、高橋一美さんから借りた田です。

米作り体験学習も今年で二回目ともあって、子どもたちは少し余裕の表情。加えて、去年はとてつもない酷い雨だった親たちも、今年はずっと良かったです。保護者会の中に水稲特別班を作り、全面的に子どもたちを応援しました。子どもたちは強力な専門家に助けられながら、田植えから稲刈りまで一環した米作りを体験しました。

◇ 天気も飛び切りの稲刈り日より、一年生から六年生までの子どもたちは、高橋さんや水稲特別班のお父さんたちに鎌の使い方をお教わりながら楽しい稲刈りをしました。

◇ この日刈り取った稲は、十月末にお父さんたちが脱穀してくれます。そして十一月十五日に行う収穫祭でもちつきをして、お世話になった方たちと一緒にみんなでいただきます。



うわあ

お米が

いっぱいだよーん

大木戸小で
楽しい稲刈り

楽しかったです



桜沢 由香さん

田植えも稲刈りも、去年までしたことがありませんでした。

初めて田植えをするときに田んぼへ足を入れたときは、ごちゃごちゃしていて、気持ちが悪かったです。今年はちよつと慣れたかな、と思います。

◇ 稲刈りのときは、家から鎌を持ってきました。田んぼに入ったら稲がチクチクしたり、腰が痛くなったたりして大変でした。

お米作りの体験学習は、算数や国語の勉強とは違う楽しさがありました。歴史で米作りが始まったころの勉強をしましたが、今でも大変なのに、そのころはどんなにたったんだらう、苦労したんだらうな、と心配になりました。

収穫祭でおもちをついたり、みんなで食べたりするのが楽しみです。

…「ごはんが大好き」
…「ごはんが好き」
…「ごはんが大好き？」



畜産農家も がんばってる

春に開牧した国見町営牧野が十月十四日に閉牧しました。町営牧野の牧草地で行われた閉牧式には、高橋友義国見牧野利用組合長や富永町長など関係者約四十人が出席しました。

式では、高橋組合長が「例年だと十月二十日ごろまで放牧できるのですが、今年はお盆過ぎの長雨や秋の寒さが早く訪れたため、一週間ほど早めに牛を下ろすことにしました。私たちの組合は、今年三十五周年を迎えました。しかし、依然として牛肉の輸入自由化や関税の引き下げなどの影響で和牛市場は低迷しています。これに対応するためには、和牛の生産コストを下げる以外にはありません。これ

からも和牛の改良を進めながら、優良牛の生産牧野としての役目を果たしていきましよう」とあいさつ。また、来賓として出席した富永町長は「百五十五日にわたる開牧期間中、何事もなく過ごされたこと、心からうれしく思います。相変わらず厳しい畜産業界の中で、どうすれば生き残れるのかを、組合員のみなさんと町、県が一緒になって考えたいと思います。今日、山を下りた牛たちにたくさんの子牛が生まれるよう祈ります」と祝辞を述べました。

今年、この牧野を利用した牛は六十二頭でした。この日、牛たちはみんな元気に、色付き始めた山を下りました。



国見町営牧野

町内の畜産農家で組織する国見牧野利用組合が、管理・運営する放牧地です。開設当初から年々拡充が図られ、現在は国見町と宮城県白石市にまたがる馬頭山に約64haもの広大な面積を持っています。

良い草が豊富にあることや自然のままの放牧地のため、牛は丈夫に育ちます。

町営牧野まで通じる林道は、拡幅改良が進められました。

国見町営牧野利用組合

昭和38年6月、29頭の牛の放牧で始まった繁殖牛の放牧が目的の組合です。この活動が軌道にのるまでには、苦労をした時代もありました。しかし、伝染病予防の対策や草地の造成・整備が図られ、現在にいたっています。

現在の組合戸数は約20戸で結成当時の半分ほどですが、年間放牧頭数は70頭前後を維持しています。なお、伊達郡内でこのような活動を行っているのは、国見牧野利用組合が唯一です。



活力ある町づくり

恵まれた自然環境に加え、便利な交通網は地域発展の基礎です。これらを活かした農工商の振興と経営の安定。特に新食糧法の施行に伴う農業振興や農村総合整備工事等事業をはじめ、小規模地区は環境整備事業など、生活環境の改善を図りました。



- 国土開発 3,437万円
- 地域開発等 2,933万円
- 畜工業の振興 1,621万円
- 勤労者福祉の向上 1,621万円
- 農業の振興 1,621万円
- 農業生産基盤の整備 3億9,054万円
- 若年層定着の推進 187万円
- ふるさと振興事業 8,365万円
- 大木戸ふれあいセンター建設 8,475万円

子どもからお年寄りまで健康で 安心して暮らせる町づくり

高齢者対策事業をはじめ、住民健康診査、乳幼児医療費の負担軽減などを図るとともに、季節保育所を併設する大木戸ふれあいセンターの建設など、福祉事業の一層の拡充に努めました。



- 健康づくり事業 1億784万円
- 母子保健事業 196万円
- 老人保健事業 9億5,828万円
- 公立藤田総合病院負担金等 3億7,417万円
- 国民年金事業費 552万円
- 老人福祉事業 1億9,905万円
- 心身障害者福祉事業 2,340万円
- 児童福祉事業 1億9,603万円
- 社会福祉協議会活動費等 6,895万円

豊かで住みよい

活力あふれる町づくり

心の豊かさを持った

人間尊重の町づくり

国見町の平成八年度決算が九月定例議会で審議、認定されました。
国見町では、「豊かで住みよい活力あふれる町づくり」と「心の豊かさを持った人間尊重の町づくり」を町政の基本目標に、さまざまな施策を展開しました。

快適で住みよい町づくり

快適な環境づくりのために、生活道路網や上下水道、河川の整備のほか、板橋南住宅団地用地の買収や親月台公園の親水公園の整備などを進めました。



- 地籍調査事業 5,636万円
- 道路の整備 3億3,424万円
- 河川の整備 1,323万円
- 町営住宅 2,578万円
- 板橋南住宅開発事業(債務負担分) 35億円
- 下水道、都市計画事業 3億4,683万円
- 水資源確保 8,187万円
- 消防体制と防災対策 1億7,200万円
- 交通安全 894万円
- きれいな町づくり 1億5,442万円

一般会計と特別会計の
歳出合計額

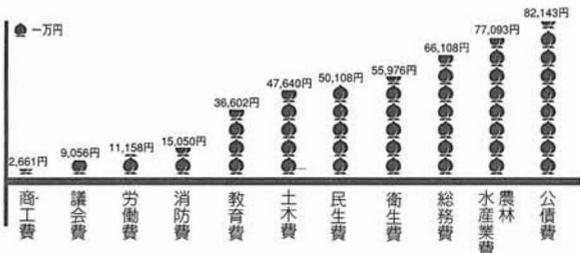
79億1331万3千円

平成八年度 国見町決算

町民一人あたりで

見てみると

一般会計の町民一人当りの歳入決算額は四十六万二千七百十九万円、一方、歳出決算額は四十五万三千五百九十五円になりました。また、歳出額を目的別に見ると、次のグラフのようになります。





ぼくぼく
うふふ
おいしいねえ



十月十七日、藤田保育所の園児と桑折緑風園のお年寄りが、サツマイモ掘りに挑戦しました。この日は、園児とお年寄り百人ほどが、緑風園内の「ふれあい農場」に集合、一緒にサツマイモ掘りをしました。

良い天気が続いたために、大きなサツマイモが埋まっている畑の土は、ちよつと固くて園児たちには手強かったのですが、おじいちゃんやおばあちゃんの手を借りて、たくさんサツマイモを掘り起しました。秋晴れの空の下に、にぎやかな声が響きました。

この催しは、昭和六十三年に

始まりました。毎年、春に園児とお年寄りが一緒にサツマイモの苗を植え、秋に収穫します。今年は、苗の植え付け日に雨が降ったため、お年寄りが担当しました。毎日毎日、おじいちゃんやおばあちゃんは、秋の収穫を楽しみに一生懸命に手入れをしてきました。

◇ ◇

掘り起したサツマイモは、園児たちがお遊戯を披露している間に、焼きいもに変身です。園児とお年寄りは、ぼくぼくの焼きいもを食べながら、ぼくぼくの笑顔で、楽しいひとときを過ごしました。

楽しみにしているんですよ

桑折緑風園では、お年寄り同士の交流はもとより、地域の方々とのおふれあひも深めようと、花見や夏祭り、いも煮会や忘年会など、一年を通していろいろな行事を開いています。中でも藤田保育所の子どもたちとのふれあひ交流は、お年寄りが一番楽しみにしている行事です。

お年寄りたちは、小さい子どもたちと一緒に植えたサツマイモの苗が良く育つように、たくさん収穫できるようにと、一生懸命に手入れをしています。そして、秋になって、半年振りに再会する子どもたちの成長ぶりに目を細めながら、一緒に掘り起こし、食べるサツマイモの味は格別のもです。ここで働く私たちも、お年寄りの笑顔を見ていると心が和みます。



桑折緑風園
園長 齋藤幸吉さん



秋色の国見踏

歩いて健康づくり

九月二十八日に開かれた第10回町民ウォーキング大会には、子どもからお年寄り約二百人が参加しました。

親月台文化センターで行われた開会式では富永町長が、八月に英語指導助手として奥北中学校に赴任したサーラ・バイムさんを紹介しながら「手軽にできる健康づくりは、歩くことです。今日は、自分の体と相談しながら、楽しく歩きましょう」とあいさつしました。

コースは、親月台文化センターを出発し、阿津賀志山山頂ま



での往復約十三キロ。参加者は、重たそうに穂を垂れる田んぼや赤や黄色に色付いた木々を眺めながら、思い思いの步調で国見の秋を楽しみました。

山頂では、国見町文化財保護審議会の菊池利雄さんが阿津賀志山を挟んで繰り広げられた奥州合戦の模様を解説すると、参加者は信達平野を見渡しながら、町の歴史に思いをはせていました。なお、参加者の最高齢は男性が後藤博さん（80歳）、女性が高野マサさん（79歳）でした。

ひ
かびかと
野末のすえに光る
狐きつねのよめいり



お話
狐が人々を化かしたり、化けたりの大活躍をしていたのは、どうも明治時代までで、その後は、少しずつ遠慮するようになったようです。

大正五年十一月、東北地方で陸軍の大演習が行われたとき、徳江、森江野地区が模擬戦場になって以来、この辺りの狐は、ふつとつと姿を消し、人里にはめつたに出てこなくなつたそうです。

でも、嫁入り行列だけは特別だつたのでしょうか。今ではもう見られなくなつた野末の光は、一体何だつたのでしょうか。

お話再発見
くにみの
民語かるた



板橋南住宅団地 完成イメージ図



国見町が計画を進めている仮称板橋南住宅団地の愛称を募集します。
イメージ図を参考に、親しみやすく、楽しい愛称を付けてください。

平成
11年
3月
完成
予定

- ☆募集期限 平成10年1月17日(当日消印有効)
☆応募方法 ハガキまたは封書でご応募ください。
なお、応募の際には次のことを明記してください。
●愛称 ●住所 ●氏名 ●年齢(学年)
●職業(学校名) ●電話番号
☆審査決定 審査委員会で審査し、決定します。
☆表彰 ●最優秀作品賞(1点)…2万円相当の記念品
●優秀作品賞(2点)…1万円相当の記念品
●アイデア賞(2点)…7千円相当の記念品
●佳作(3点)…5千円相当の記念品

★応募先・問い合わせ 企画商工課 企画商工係 ☎(85)2927

愛称の付け方 虎の巻

この板橋南住宅団地は、国見町の自然に調和した住環境を作り、将来の住宅需要に応えるために計画されているもので、すでに用地買収を終え、間もなく着工します。

開発区域の総面積は11ha。上下水道はもちろん、緑たっぷりの公園も整備されます。分譲区画数は163区画、このほかに町営住宅も50戸建設する計画です。

ワクワク—感じる
愛称募集
!



年に1度は
胃がん検診を受けましょうよ!

わが国は世界一胃がんの多い国です。しかし、胃がん検診の普及などから、胃がんによる死亡者は減る傾向にあります。とはいえ、今なお日本人に一番多いがんに変わりはありません。胃がんは、早期に発見、治療すれば、ほぼ100%治ります。早期のうちは無症状のことが多いので、やはり予防のキメ手は定期検診。そこで国見町では、次の日程で胃がん検診を行います。40歳を過ぎたら、年に1度の検診を受けましょう。

- ★と き 11月26日から28日までの3日間
- ★と ころ 26日 東部高齢者等活性化センター
27日 森山野町民センター
28日 観月台文化センター
- ★受付時間 午前8時20分～午前9時30分
- ★申込方法 回覧で申し込み受付を行います。申し込みをしないで直接会場に来られた場合、受診できないこともありますので、必ず事前にお申し込みください。
- ★料 金 600円(国民健康保険に加入されて

いる方は無料ですから、保険証を持参してください。また、昭和2年4月1日以前に生まれた方や住民税非課税世帯、生活保護世帯の方も無料ですから、受け付けの際にお知らせください)

★対象者 昭和33年4月1日以前に生まれた方



*** 乳児健診 ***

該 当 乳 児	実 施 日	受 付 時 間	会 場
・3か月児 (平成9年9月生まれ) ・9か月児 (平成9年3月生まれ)	1月22日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

《健診内容》

- ☆医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、家族計画などについて
- ☆母子手帳を忘れずに!

骨粗しょう症健診

骨粗しょう症の予防には骨の状態をよく知ることが大切です。そこで骨粗しょう症の検診を次の日程で実施します。

- 1) 村上医院 12月1日～13日
(木曜日は午前中、土曜日は平日同様)
- 2) 公立藤田総合病院 (整形外科外来)
12月1日～12日 (土曜日は除く)

骨粗しょう症とは…

体内のカルシウムが不足して骨がスカスカになり、折れやすくなる病気のことです。特に女性は、男性に比べがかりやすいといわれ、年齢とともに進行し、ちょっと転んだだけでも骨折したり、背中や腰が痛むなどの症状が出てきます。

- カルシウムの補給…骨の材料となるカルシウムの多い食べ物を食べましょう
- 運動不足の解消…骨にカルシウムを蓄えるために適度な運動をしましょう
- ビタミンDの補給…カルシウムの吸収を助けるためにビタミンDを多く含む食品をとり、日光によく当たります

【予防法】

よく動き、よく食べてこそ健康な体になりますよ

体を動かせば動かすほど、より多くのエネルギーを消費します。しかし、運動と食事のどちらか一方にこだわった生活をしていると、エネルギーのバランスが崩れてしまいます。

★脂肪の蓄積と筋肉の欠落

運動をせずに食べるだけの生活をしていたら太ります。逆に体をよく動かすのにあまり食べない生活では筋肉組織がエネルギー源として使われてしまいます。

★食べない減量は

体の組織を減らさざるを得ない。私たちの体は脂肪部分と筋肉や骨、内臓などからできています。脂肪傾向の人は食事制限をしますがこの方法だけでは問題があり

★縮まった体こそ健康のシンボル

「動かない、食べない」生活をしていく人の体は体脂肪量が以外と多く、筋肉や骨が弱くなっていきます。よく動いて、よく食べることで得られる体こそ健康のシンボルです。

ます。激しい食事制限はビタミン不足、カルシウムなどのミネラル不足を招きます。食事制限は、よく体を動かしながら、徐々にいきましょう。



小学生だって がんばっちゃうもね!

第12回 国見町スポーツ少年団駅伝大会

11月16日(日)

会場 藤田小学校

女子…午後1時スタート

男子…午後1時15分スタート

昨年は、男子32チーム、女子5チームが参加して行われました。今年も、小学生選手が栄冠を目指して、国見の街を駆け抜けます。



人権擁護委員に

鈴木 キ又さん



人権擁護委員に鈴木キ又さんが再任され、十月一日に委嘱状が交付されました。

人権擁護委員は、人格や識見に優れ、人権擁護に理解のある人を町が議会の同意を得て推薦し、法務大臣が委嘱するものです。基本的人権を侵すさまざま

なことがらを監視したり、救済したりするために、人権侵犯事件の調査や情報収集、法務大臣への報告、関係機関への勧告などをを行います。

人権に関する悩みや心配ごとがあった場合には、気軽にご相談ください。

★連絡先

鈴木キ又さん(自宅)

☎(77) 5210

教育委員も再任

国見町の教育委員には、佐藤利雄さんと高橋佐七さんがそれぞれ再任され、冨永町長から辞令が交付されました。

教えて、教えて…

住民票の請求はどうするの?

「住民票って何ですか」

住民票は、みなさんがどこに住んでいるのかを証明するものです。氏名や住所はもとより、生年月日や性別、世帯主名、世帯主との関係、本籍、住民となった(転居した)年月日や前住所などが記載されています。

「請求するとき」

住民票の交付には、「世帯全員の写し」と「世帯一部」の写しとがあります。「世帯一部」の写しは、世帯内の特定の方向についてのもです。住民票の交付は、住民登録をしている市町村で行っています。住民票を請求することができますのは、本人と一緒に暮らししている方だけです。請求の際には印鑑は不要ですが、所定の申請書を提出してください。また同一世帯でない親子や兄弟姉妹でも請求することは

できませんし、電話での問い合わせにもお答えできません。



なお、例外的に同一世帯でない方が申請する場合には、委任者本人が自署、押印した委任通知書が必要です。

手数料は「世帯の一部の写し」の場合は一枚三百円、「世帯全部の写し」の場合は五枚までが三百円、六枚以上の場合は六百円です。

★問い合わせ

住民課 戸籍住民係

☎(85) 2115



町政懇談会が始まります

今年度の町政懇談会は、11月17日の森江野地区を皮切りに行われます。6会場で各地区のみなさんご意見やご提案をうかがいます。なお、いずれも午後1時30分からです。たくさんの方の参加をお待ちしています。

17日(月)	森江野地区	森江野町民センター
18日(火)	大枝地区	東部高齢者等活性化センター
19日(水)	小坂地区	観月台文化センター
21日(金)	山崎・石母田地区	観月台文化センター
25日(火)	藤田地区	観月台文化センター
26日(水)	大木戸地区	大木戸ふれあいセンター

★問い合わせ 総務課 文書広報係 ☎(85)2114



国民金融公庫は、昭和二十四年に設立された日本政府の金融機関です。公庫では、大学や短大、専修学校、各種学校などに入学する学生を対象にした教育ローンを扱っています。必要な日までに資金が届くよう、早めにお申し込みください。

▼融資額：学生・生徒一人につき百五十万円以内▼返済期間：原則として八年以内ですが、交通遺児家庭や母子家庭の場合には、一年の延長が可能です。また、

応援しますよ

国の教育ローン

た、在学期間以内での元金の据え置きも可能で、この場合は最長四年です▼利率：年二・七％（九月十一日現在）▼返済方法：毎月元利均等返済ですが、ボーナス月の増額、ステップ返済も可能です。

★問い合わせ

国民金融公庫 福島支店

☎(23) 2341

福島県勤労者

文芸コンクール

福島県内の勤労者が、その余暇に作成した文芸作品を募集し

ます。

▼募集作品：詩、短歌、俳句、川柳▼募集規格：◇詩：四百字詰原稿用紙三枚以内、一人二編以内◇短歌：四百字詰原稿用紙に一人五首以内◇俳句、川柳：四百字詰原稿用紙に一人五句以内◇応募資格：県内で働く方▼応募上の注意：◇本人の創作で未発表のもの◇原稿用紙に応募種目、勤務先、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記◇原

西分署だより

秋の全国火災予防運動

十一月九日は「一一九番の日」です。この日から十五日までの一週間は、各地で秋の全国火災予防運動が実施されます。この運動は、火災が多くなる時期を迎えることから、火災の発生を防止し、命と財産を守ることを目的に行われます。

は大切ですが、限界があります。炎が天井に回ったり消火は無理です。素早く避難しましょう。また、吐き気や頭痛、めまいがしたらガス中毒の初期症状です。すぐに避難しましょう▼避難の仕方：◇服装や持ち物にこだわってはいけませんし、一度避難したらどんなことがあっても戻ってはいけません。◇お年寄りや子どもを最優先しましょう。◇建物の中から避難するときは、姿勢を低くして、口と鼻を覆いましょう。

稿は楷書でたっぷり書いてください。なお、応募した原稿は返ししません▼締め切り：十二月一日(当日消印有効)▼送付先：福島県労政課(〒960-70福島市杉妻町2の16)▼審査賞：第一席から佳作までに賞品を贈呈します。

★問い合わせ

福島県 労政課

☎(21) 7296



国土調査株式会社

一筆地測量について

今年度に調査をした「泉田第二地区」と「鳥取第一地区」の一筆地測量が始まります。

この測量は、国見町が委託する専門業者がみなさんの所有地に、その都度立ち入りながら実施することになります。

また、すでに打ち込んである

杭や鉄の場所がすぐわかるように、目印となる篠竹などを立てておいていただければ助かります。どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

★問い合わせ

企画商工課 国土調査係

☎(85) 2967



帰国報告展

みんなで待ってます若人の翼

福島県が、北米・中国・ヨーロッパ・オセアニアそして南米の五つの大陸に七十三人を派遣した若人の翼事業の帰国報告展が開かれます。派遣先でのホームステイや現地青年との交流、ボランティア研修の様子などをパネル写真やスライドを使って紹介します。

国見町から参加した今野明子さんをはじめ、一回り大きく成長した団員たちが、みなさんをお待ちしています。

▼期間：十一月二十二日(土)から二十三日(日) ▼場所：福島市・福島県青少年会館☎(46)

8311 ▼内容：◇帰国報告会 二十二日・午後一時から◇派遣先での研修活動を写したパネル写真の展示：二十一日・午後一時から二十三日・午後二時) ◇国際協力に関する講演会：二十三日・午前十時) ★問い合わせ 福島県 青少年女性課

☎(21) 7187



●●ご隠居の年金よもやま話●●

～年金種別の巻～



天高く馬肥える秋…。それはさておき、からっと晴れた秋の朝、ご隠居と熊さんが、よもやま話を始めました。

ご隠居：おはよう熊さん、朝早くから精が出るねえ。ところで、お前さんは大工の棟梁だから国民年金だよな。

熊さん：へい、ご隠居。毎月払ってますよ、口座振替で。ご隠居：それはいい心がけだね。私みたいに歳をとってから年金はありがたいものだよ。

熊さん：ですがねご隠居、私たち夫婦二人の保険料ですから大変ですよ。そうそう、向かいの長屋の△○商事に勤めてる八つっあんなは、奥さんの保険料は払ってねえって言ってましたぜ。超ムカツクって感じー。

ご隠居：国民年金には3つの種類があるってことを熊さん、知らないのかい。

熊さん：国民年金は国民年金でしょうが…。
ご隠居：国民年金は、20歳以上60歳未満の国民全員が加入する年金なんだよ。農業や自営業、学生が加入する第1号、会社員や公務員が加入する第2号、そして会社員などの奥さんが加入する第3号の3種類に分かれているんだよ。

熊さん：じゃあ、私たち夫婦は第1号、八つっあんなは第2号、それでもって八つっあんなのお上さんは第3号ってことですかい。

ご隠居：そのとおり。それでね、八つっあんなのお上さんの保険料は、八つっあんなの会社が加入している年金制度が負担しているから、お上さんは納める必要がないんだよ。ただね、第3号の届出をきちんとお役所に出しておかないと国民年金がもらえなくなってしまうんだよ。

熊さん：なるほどそういうことか。よくわかりました。おっといけねえ、遅れちまつ。それじゃ、ご隠居、行ってきます。

ご隠居：しっかり働いておいで…。 おや、今日は労働感謝の日でお休みなんじゃ…。 もう行っちゃったよ、せぞっかしいねえ。

★問い合わせ 住民課年金係 ☎(85)2179



がんばれ国見チーム!

～市町村対抗ふくしま駅伝～

11月23日(祝)午前8時
白河市総合運動場スタート



戦没者等の遺族のみさんへ
特別弔慰金

平成七年四月一日において、遺族の中に公務扶助料、遺族年金などの受給権を有する方がいない場合に、戦没者などの死亡別弔慰金が支給されます。
▼弔慰金の額：額面四十万円(十年償還の国債) ▼請求期限：平成十年三月三十一日まで
★問い合わせ
・福島県 高齢保健福祉課
・国見町 保健福祉課
☎(21) 7166
☎(85) 2793

12月の心配ごと相談

5日(金)
斎藤光夫さん 小西絹子さん
15日(月)
三瓶 茂さん 葉瀬貞子さん
25日(木)
佐久間巖さん 高野時子さん
場所
役場(2階)相談室
時間
午前9時～正午

観日台文化情報



問い合わせ●●●
生涯学習課 文化振興係 ☎(85)2676

田崎悦子ピアノ・リサイタル

2月1日 午後2時 1,500円



NHK 東北民謡コンクール

福島県予選会

●2月14日

福島県内に住むアマチュアの民謡歌手が参加する大会。新人部門と大賞部門に分かれて、約80人が自慢の民謡を披露します。午前は予選会、午後は決勝大会。大会の様子は、2月下旬にNHKラジオ第1で、3月上旬にNHK・FMで、県内、東北各県にそれぞれ放送されます。

人口と世帯

人口10月1日現在
男 5,579人(-1)
女 5,970人(-3)
計 11,549人(-4)

出生 6人 死亡 6人
転入 18人 転出 22人

世帯
3,125世帯(-1)

- おくるやま申上げます
- 加藤 啓さん(板)
 - 鈴木 富治さん(中)
 - 佐野 政次さん(第8部)
 - 寺島 金治さん(第11部)
 - 佐々木 甚一さん(石母田原)
 - 中野 正男さん(鶉町)
 - 八島 榮一さん(高城)
 - 吉田 三夫さん(第3部)
 - 渡邊 コウさん(第7部)
 - 佐藤 ヒロさん(貝田)
 - 高村 ヒサさん(高城)
 - 武田キミヨさん(第3部)
 - 目黒トミ子さん(泉田)
- (10月20日届出分まで)

お祝いメール

ピアニストとしてアメリカで30年にわたり、ショルティ、サヴァリッシュ、スラトキンそして小澤征爾など、世界の指揮者と共演、演奏活動を続ける。その独特の表現力は国際的にも定評があります。“熱情と力、美しい音色、心に浸透する音楽だ(ニューヨーク・タイムズ紙)” “約に見覚えられたように身動きできなくなってしまう(ミュージカル・アメリカ紙)” とは、有力紙の芸術評。

誕生おめでとう

- お子さん 保護者
- 仲野 浩輝さん(栄輝さん・マユミさん)(小林)
 - 佐藤 翔青さん(勝吉さん・智江さん)(石田東)
 - 村上 裕之さん(裕一さん・日出子さん)(大木戸)
 - 安藤 和義さん(四郎さん・アリアさん)(須田上)
 - 高橋 栄央さん(芳夫さん・由美さん)(藤田光陽)
 - 吉澤 景佑さん(照景さん・牧子さん)(宮町北)
 - 曳地ひとみさん(正憲さん・晴美さん)(藤田光陽)
 - 遠藤 美奈莉さん(祐紀さん・梢さん)(板橋)

結婚おめでとう

- 阿部 忠行さん・真由美さん(每里)
- 和光 真さん・由美子さん(板橋)
- 沖野 健一さん・美穂さん(小林)
- 菊池 美喜雄さん・陽美さん(山根)
- 遠藤 正泰さん・奈津子さん(滝山)
- 佐久間 浩さん・康恵さん(耕谷)



生涯学習 つうしん



国見町教育委員会 生涯学習課

観月台文化センター ☎(85)2676 FAX(85)2707

秋晴れのもと 研修旅行

阿津賀志学級の秋の研修旅行は十月十六日、四十六人が参加して実施されました。朝から秋晴れに恵まれたこの日は、歴史的に国見町と関わりの深い岩手県平泉町を訪ねました。

一関で高速道を下り、はじめに栗駒国定公園の一環をなしている溪谷と団子で有名な厳美渓とその近くにあるサハラガラス館を見学しました。その後、藤原氏が建立した毛越寺の本殿を拝観したり、特別史跡になっている大泉が池や浄土庭園を見学



しました。この日は特別な日にあたり本殿の中に入って拝観することができました。

昼食後、中尊寺を見学。ガイドの流暢な説明を聞きながら金色堂をはじめ資料館や本堂など歴史的に貴重な文化財を見学しました。また、東物見台からのぞむ北上川を前にしながら、つわものどものロマンや衰退の説明を受け、藤原四代の栄華と夢の跡を感じることができました。

帰路途中では、孫や知人へのみやげ品を買い求めたりして、有意義で楽しい一日を過ごしました。

精一杯

がんばりました

九月二十日から二十二日にかけて山形市で開催された第十回全国ねりんピック・バウンドテニス競技に県代表として出場した鈴木一子さんと八島和子さんのペアは、決勝トーナメントに勝ち進みました。惜しくも準々決勝で敗れたものの、県代表として精一杯がんばりました。



平成10年

国見町成人式

平成十年国見町成人式は、一月十五日に観月台文化センターで行われました。該当者は、昭和五十二年四月一日から昭和五十二年四月一日までに生まれた国見町在住の方ですが、町外に在住で出陣を希望する方は、教育委員会生涯学習課へお申し込みください。

式典は、午前十一時から行われ、成人証書交付や記念品贈呈を、式典後は記念写真撮影や成人記念パーティーを行う予定です。詳しいことは、後日、該当者あてに送付する案内状をご確認ください。

お問い合わせ、申込先
★教育委員会 生涯学習課
〒(85)2676

新成人名簿(順不同、敬称略)

▼藤田地区：菅野真樹 國井晴美 牧野司 齋藤由美子 國井洋子 本間章子 一條崇幸 鈴木桂子 木田康史 曳地信一 菅原幸恵 鴨原謙忠 吉田孝志 大和田健智 武田花穂子 池江ひろみ 八島智子 後藤克明 鈴木香奈 沼田由章 阿部美幸 大関淳寛 菊地亜矢子 八巻貴裕 大津剛 松田勇人 佐藤真由子 丹野ひとみ 山崎大輔 佐藤崇 後藤仁 吉田久夫 八巻裕高 佐藤洋一 遠藤洋史 齋藤明子 佐藤理香 倉田憲太郎 齋藤千春 佐藤奈織美 佐藤淳一 佐藤智宏 阿部重里 菊地由紀子 深田順子 菊地博友 菊地秋穂 菊地博美 齋藤香 櫻井博 渡邊泰徳 佐藤里佳 佐藤美也子 菅野恵子 高橋咲子 赤坂和恵 高橋めぐみ 安藤嘉代 佐久間誠 高原真紀 高橋直美 大友裕子 五十嵐和彦 五十嵐友彦 榊田加里 齋藤順子 仲野彰 松浦育子 廣瀬英昭 村上なお 鈴木奈緒子 飯塚沙 小室洋 我妻武司 松浦保則 富田祐一 平野綾子 鈴木絵理子 加藤奈緒美 小坂地区：齋藤敬 佐藤美 赤坂正美 安藤真史 佐藤和恵 朽木英敏 山田由美 遠藤伸 遠藤祐 佐久間修一 佐藤壽祐 仲野真奈美 渡邊郁子 佐藤智佳 高原のぞみ 安藤貴弘 林俊也 佐藤友紀 速



身近な薬草教室

受講生募集

- ・開講日 11月27日(木)
12月4日(木)
11日(木)
- ・場所 観月台文化センター
第1和室
- ・時間 午後7時～8時30分
- ・定員 30人
- ・講師 梁川町野草・薬草園
園長 高橋彦太郎先生
- ・内容 身近な薬草の効能や採取方法、正しい使い方等について理解を深めます
- ・受講料 無料
- ・申し込み 11月25日まで生涯学習課へ
(電話での申込み可)

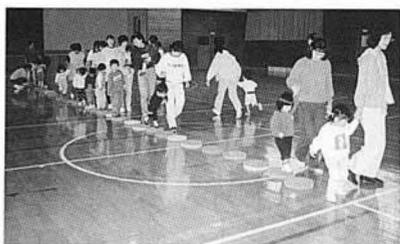


親子で遊ぼう

第十回子育て教室が九月二十六日、観月台文化センターで行われました。講師には福島市恵泉幼稚園園長の佐藤キイ先生にお願いし、「みんなで遊ぼう」というテーマで、二十組の母子が楽しく学習しました。

前半は「年齢による発達と望ましい活動」というお話をうかがいました。一歳から五歳までの標準的な運動機能や精神発達の特徴について、具体的に詳しく話をいただきました。佐藤先生は、不安なことがあったらくり返し練習したり、医師に相談したりすることも親の務めだと強調されました。後半は、母子で手をつなぎ合ったり引つ

張り合ったりしてできるストレッツ子体操や、カラークンパを用いた運動などをして楽しみました。ここでは先生は「まわる、まわる」「とぶ、くぐる、ひっぱる」などの言葉を実際の動作と一緒にさせると、言葉の意味と行動を結び付けて、すぐに覚えさせることができると教えていただきました。広い体育館をいっぱいに使ったの楽しい九十分でした。



練習の成果を発揮

第十七回国見町少年柔道大会は十月五日、観月台文化センター

1体育館で開かれ、県内外から参加した子どもたちが熱戦を繰り広げました。この大会は、町柔道クラブの主催で、柔道に励む少年少女たちが柔道の技能を高めるとともに相互の親ほくを図ることを目的に、毎年開かれているものです。

今年の大会には、福島県と宮城県から五十七チーム四百人が参加し、小学生低・高学年と中学生の部に分かれて団体戦と女子の個人戦を行いました。選手たちは、投げの特技や寝技などに、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。

佐藤智恵さんに 優良賞



第十九回少年の主張福島県大会に出場した県北中三年の佐藤智恵さんが、優良賞を受賞しました。この大会は、県青少年育成県民会議が主催し、県内の中学生二万八千人が応募したうち、事前審査をへた十六人が、この大会に出場しました。

新しい本が読めました 文化センター図書室

【一般図書】

- ・この国のなくしたものがかるく一杯 (田辺聖子)
- ・なんばよとっか (坂田イコ)
- ・僕子がこわい (夏木静子)
- ・対談杉浦日向子の江戸塾 (杉浦日向子)
- ・沖縄独立宣言 (大山晴常)
- ・推理小説代表作選集1997 (尾崎秀樹)
- ・中年シングル生活 (櫻川夏夫)
- ・思い出の少年倶楽部時代 (本田桂子)
- ・父丹羽文雄介護の日々 (野口勝可)
- ・除草剤探偵 (木曾勉)
- ・ハウス野菜の病害虫防除

・環境保全型農業 (農林水産省JANA)

- 【児童図書】
- ・あれれあれ (やぎゅうげんいろう)
- ・のどからあいうえお (高畑純)
- ・ぼくとちゅうだめ (佐木マキ)
- ・まねしゅだめ (ブリジット・スマジ)
- ・ぎょうぞつったの (きむらよしお)
- ・ふつうのおひめさま (メアリー・M・ケイ)
- ・やっかいなおりもの (いとうひろし)
- ・地球はえらい (城崎二)
- ・すずめぼうし (たつみやま)
- ・町の水族館 町の植物園 (小林亜聖)

藤見子 佐藤明子 原田健一 菅野まゆみ 佐藤真紀子 ▼ 森江野地区：鈴木賢二 佐久間千寿 近野正 吉田真宏 佐藤法久 斎藤美保 本多千穂 南清和 本多由美子 村上朝美 賀藤恵 大波孝至 大波雄 蓮田真紀 ▼ 村上正幸 佐藤充 寺島高広 石井直人 ▼ 大木高広地区：大河原徳子 佐藤千春 松田博之 松浦弘二 松田幸枝 高橋ひとみ 佐藤亜矢子 渋谷志由 遠藤順子 蓮田真奈美 佐藤理絵 志村有希 長谷川ひとみ 八島恵英子 松浦剛志 竹田美歩 松浦秀樹 斎藤静彦 斎藤豊文 菊池志帆 今野由紀子 今野由美子 ▼ 大枝地区：佐藤英由紀 小林裕之 松浦俊紀 佐藤謙 遠藤悦子 佐藤謙 佐藤崇志 佐藤信也 鈴木勉 児玉香織

**お**
いしい関係

藤田光陽町内会で行われた「いも煮会」は大盛況でした。雇用促進住宅「サンコーボラス国見」に住む若い家族同士が、いも煮のなべを囲み、楽しいひとときを過ごしました。
「おいしいね」「よろしくね」

**交**
通事故をなくしましょう

秋の全国交通安全運動の期間中、大枝小児童の鼓笛パレードやJR藤田駅前でのふれあいキャンペーン、高齢者の二輪車運転競技会など事故防止に向けたさまざまな取り組みが展開されました。

**ソ**
フトテニスで出場、半沢さん

10月15日、大阪府で開催されている「なみはや国体・少年女子ソフトテニス競技」に出場する半沢沙希さんに富永町長が、激励金を贈りました。「がんばってね」「はい！」

竹
の炭を作ります

十月四日、シルバー人材センターが後藤清さん所有の炭焼き釜を借用して製造・販売を始める竹炭事業の安全祈願祭が行われました。竹炭は、水質浄化や湿気取りに効果があります。



編集・発行/国見町 総務課

〒969-17
福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田2の1☎ 0245-85-2114
FAX0245-85-2181

おきなな天ぷら

秋

森江野小 六年生

十五夜は 月のうさぎも おもちつき

菊地 美奈

秋深し 鈴虫鳴くよ 月の下

引地美由紀

もみじの葉 風に運ばれ 長旅か

大内 美香

秋の木の さびしいかれ葉 きれ

武田 毅

『児童生徒文集』
八行み 第29号から